

研究課題番号	1MF-2304
研究課題名	災害・事故に伴う迅速な化学物質曝露・リスク判断のための現地対応型評価デバイスの開発
研究実施期間	令和5年度～令和7年度
研究機関名	横浜国立大学
研究代表者名	三宅 祐一

1. 評価結果

評価ランク：A

2. 委員の指摘及び提言概要

制約条件の多い災害時・事故時対応を目指し、簡便かつ有効なサンプラーの開発やその性能評価を着実に進めている。サブテーマ1では、パッシブサンプラーの性能試験が適切に実施され、実環境での使用に耐えうることが実証されている。二硫化炭素の代替溶媒としてフェノキシエタノールが発見された点は想定外の成果であろう。サブテーマ2では、POCIS の特性の速度論的な評価や考察が着実に進み、国際的精度管理プログラムに提供するなどの成果を納めているが、対象物質や開発技術内容の明確化が求められる。パッシブサンプラーは気象条件等、周囲の状況の影響を受けやすいので、できる限り多くの条件における実験データが蓄積されることを期待する。また、緊急時にどのようにヒトに装着しリスク判定を行うのかなど、検討しておくことが必要と思われる。